



2学期が始まり、2週間が過ぎました。個人懇談会では貴重なご意見や若い先生方がさらにやる気を出すようなねぎらいのお言葉をたくさんいただき、とても感謝しております。私も若い頃、保護者の皆様に育てていただいたことを思い出しました。



【シートを挟んで懇談会】

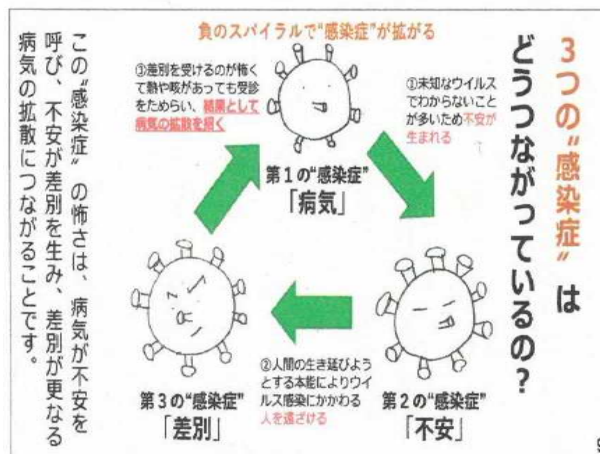
さて、新型コロナウイルスの感染拡大状況については、本市及び近隣市町村の感染者数を見ても、予断を許さない厳しい状況です。文部科学省から出されるガイドラインの更新状況をチェックしながら適切に感染防止に努めてまいります。



【隣に水がかからないよう手洗い】

社会問題となっているコロナ差別

6月号でも「新型コロナウイルスの3つの顔を知ってますか？」という見出しで掲載していましたが、感染者やその家族、または医療や介護の現場の最前線で働く関係者やその家族に対する差別・偏見やいじめなどが大きな社会問題となっていま



す。その差別・偏見やいじめのために社会復帰、学校復帰ができない例も出てきています。

確かにウイルスは見えません。ワクチンや特効薬も開発されていません。



分からないことが多いので、私たちは強い不安や恐れを感じますが、だからといって人権を侵害していいわけではありません。偏見や差別的な言動に同調せず、正しい情報と知識に基づいた行動を取ることが何よりも大切です。また、誰もが新型コロナウイルスにかかる可能性があります。たとえかかったとしても温かく受け入れ、笑顔で暮らせる社会（学校）にしたいと思い、再度人権学習を計画しました。身体的には距離を取り、心の距離は縮めることが大事だということを知っています。

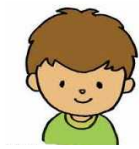
授業後の子どもたちの意見文です。



だれも感染するから友だちが感染しても、温かい人になって温かい言葉をかけられたらいいなと思いました。自分がかかってみんなから差別をされたらいやだから、自分がいやなことは、ほかの人にもしないように気をつけて、みんなにやさしくしたいです。（4年生 児童）



コロナかもしれない人がいじめられていたら、「いじめたらだめ。」という。ちくちくことばもだめ。（2年生 児童）



人がコロナになってしまったら、差別は絶対しないで、その人に「ガンバレ」とエールを送ってあげる。コロナになった人は、コロナはとっても苦しい病気なのに、その中で差別もされるから、コロナになった人がかわいそうだな。ぼくは絶対に人をきずつける人間にはなりたくない。（5年生 児童）

9月の主な行事

日	曜	主 な 行 事
8	火	代表委員会
10	木	※6校時授業
14	月	時間を守ろう週間
15	火	クラブ活動
17	木	※5校時授業
24	木	※6校時授業
25	金	プログラミング学習（6年）
29	火	プログラミング学習（5年）
30	水	いじめアンケート

